

まちの話題



南海地震に備え自主防災組織が訓練

7月27日、土佐山田地区上野防災会（会長 比江森克彦）の訓練が秦山ふれあいセンターで実施されました。

1が市消防本部の指導で行われました。

また、防災用具購入のために、加入世帯から持ち寄った品物でのバザーや、一度にたくさん炊事をする炊き出し訓練も実施されました。

訓練は、初期消火のための消火器の操作訓練、毛布を使った簡易担架の作成、負傷者の搬送やバケツリレ

た防災会は、地区の全140世帯全員が加入し、地域が一つになり、防災に取り組んでいきます。



▲力を合わせてバケツリレー

防災訓練だけでなく、地域の皆さんが集う交流の場にもなりました。

防災対策課では、引き続き説明会を開催して、香美市全域で自主防災組織が設立されるよう取り組んでいます。まだ自主防災組織が設立されていない地域の皆さんも、いつ起こるかもしれない災害に備え自主防災組織設立をお願いします。



▶消防署員に指導を受けながら簡易担架を作成

無事故無違反たすきリレーを実施

香美地区交通安全管理者協議会は、7月3日から「無事故無違反たすきリレー」を実施しています。

安全運転管理者は、安全運転指導や運行計画の作成など安全運転に必要な業務を行うため、規定の台数以上の自動車を使用する事業所ごとに選任されるもので、同協議会には市内70事業所が加入しています。

現在、各事業所は1週間ごとに「黄色のたすき」をリレーし、朝礼等での交通指導や無事故無違反を達成することはもとより、家庭・地域でも交通事故に遭わないように、交通ルール・マナーを守るように啓発を行っています。



▲交通ルールを守って

エコを考えるふな祭りを開催



▲ステージでは子どもたちの歌やバンド演奏も行われました

7月26日、「第4回ふな祭り」が舟入小グラウンドで開催され、同校児童や地域住民らに参加し、祭りを楽しみました。

今年も「地球にやさしいふな祭り」をテーマにさまざまなイベントが行われた中、初の取り組みとして、全児童がそれぞれ絵を描いて作ったエコバックの展示が行われました。また、他にも、空き缶のリサイクルの啓発を兼ねての空き缶積み大会や舟入地区に関する〇×クイズなど、参加者は楽しいひと時を過ごし、交流を深めました。

関西香美市ふる里会が開催

7月13日、大阪市東成区にある「土佐料理みなみ」を会場にふるさとを同じくする参加者が集い、関西香美市ふる里会が開催されました。

関西香美市ふる里会は関西土佐山田ふる里会を前身とし、合併により衣替えをして、今回で2回目の開催となったものです。

当日は、香美市から門脇市長や中澤議長など8人が出席し、香美市のたまたまいや近況と今年から始まったふるさと納税（寄付金）制度について映像を交えて説明するなど、宣伝営業活動も行いました。

その後、参加者はテール狭しと並べられたさわち料理などとともに香美市の特産品を囲んで、和気あいあいとふるさと談義に花を咲かせました。そして合併して日も浅いことから、まだまだこの会が知られていないこともあり、もっとたくさんの方々へ声がけ

の努力をしようといったことなど、来年に向けての取り組みとともに再会を約束しながら、楽しいひとときを過ごしました。



▲香美市出身者による関西香美市ふる里会

関西圏にお住まいの香美市をふる里とするの方々について、市民の皆さんからのご紹介をお願いします。

連絡先は、

大阪市東成区神路4丁目11-19

『関西香美市ふる里会』

会長 南頭まで

(☎06-6972-0373)

第3回老人クラブ大会
開催



▲会長により表彰状が贈呈

7月30日、中央公民館で「第3回老人クラブ大会」が開催され、約70人の会員が参加しました。老人クラブの活動の推進と老人福祉の向上を目的に開催されたこの大会では、長年にわたり活動に功績のあった5人の方々が表彰されました。その後、「南海地震に備えて」と「口腔体操について」の2つの講演があり、地震対策や口腔体操の体験など、健康で安全な生活を送れるよう知識を深め、会員同士が交流を行いました。

テーマは「これからも(継続)」

～第3回香美市生涯学習推進大会～

今年度は「ゆたかな学びをこれからも（継続）」をメインテーマに、7月12日、奥物部ふれあいプラザにおいて「第3回香美市生涯学習推進大会」が開催され、150人が参加しました。第1部では、繁藤小学校、大栃中学校、あびす昭和横丁実行委員会が活動報告を行いました。第2部の鳴門教育大学准教授の香西武氏を招いての講演会では、発展途上国の教育の現状とそこから学ぶものについて、参加した多くの市民が熱心に聞き入っていました。

▶発表を熱心に聞き入る参加者たち

